

都道府県名	佐賀県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	伊万里市立山代中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	1	7	18
生徒数	60	65	74	2	201	

研究の概要

1. 研究主題

基礎学力の確実な定着を図り、学習意欲を持たせる個に応じた指導の工夫

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

全学年 国語、数学  
 基礎学力の定着をめざし、特設補充の時間を設ける。  
 基礎学力のキーワードを「文字」「数字」「言葉」として、読む、書く、覚える、計算する、理解する、考える、話す、聞く、表現するの9つの項目を設定し、身につけさせることをねらいとする。

全学年 全教科  
 特設補充学習を踏まえて、各教科で基礎・基本的な内容をどう押さえるか指導の視点を明確にして指導法の工夫・改善を行う。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 基礎学力の定着と向上をめざして</p> <p>仮説 授業規律を高めることで、より基礎学力の定着が図られるであろう</p> <p>研究の内容・方法          (1) 基礎学力の定着と向上をめざした特設補充学習の時間を設定し、基礎学力の定着を図る。（基礎学力向上部会）          ・生徒の実態把握          ・指導内容の選定          ・週計画、年間計画の作成          ・学習環境の整備（余裕教室の利用、辞書の購入）          ・特設補充の時間での指導形態の工夫（習熟度別学習、TT指導）          (2) 授業規律を高めることで、基礎学力の定着を図る。（学び方部会）          ・生徒会と連動した学習ルール作成、生徒への啓発          ・学校パンフレットの作成と保護者への啓発          (3) 生徒の自主的な活動を促し、「確かな学力」を支える「豊かな心」を育成する。（心の教育部会）          ・生徒の「良いところ探し」とその紹介          ・構成的グループエンカウンターを取り入れた集会の企画・運営          ・道徳の年間計画の充実          ・校区内両小学校との連携          (4) 学力向上を目指した二学期制の実践</p>
--------	---

- ・年間行事の再配置と精選（時数確保）
- ・指導と評価の工夫
- ・長期休業の活用
- ・家庭との連携

平成16年度

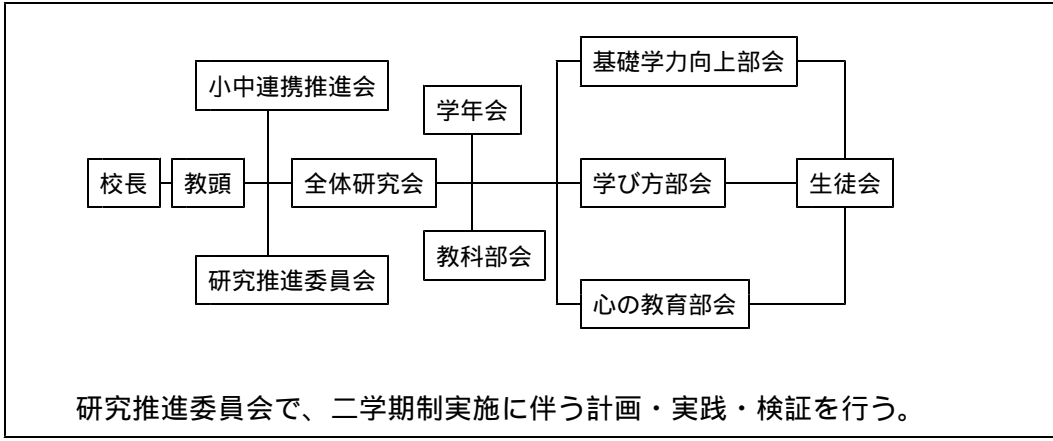
テーマ  
学習意欲を持たせる指導方法の工夫・改善  
～個に応じたきめ細やかなTT指導や少人数指導の展開～

仮説  
個に応じたきめ細やかなTT指導や少人数指導を展開することは生徒の学力向上につながるであろう。

研究の内容・方法

- ・特設補充学習の取り組みを生かす各教科の実践（授業の視点を明確にした指導計画）
- ・指導技術の向上を目指した実践
- ・「豊かな心」を育む道德の時間の充実（支え合い、励まし合う風土作り）
- ・家庭学習の充実と徹底（家庭との連携強化）

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

(1) 基礎学力向上部会  
特設補充学習について  
生徒の変容について  
特設補充学習では、基礎学力の定着をめざし、国語では「読み・書き」、数学では「表現・処理」の力を高めることをねらいとして取り組んだ。二学期制の実施により特設補充学習の実施時数は、次のとおりである。これは、標準授業時数980時間を除いた時数である。

1年	78時間	2年	77時間	3年	49時間
----	------	----	------	----	------

## CRTの結果

国語	学年	2年		
	実施日	04.2.5	03.2.13	04.2.5
内 容		全国比 (100)	全国比 (100)	全国比 (100)
話すこと・聞くこと		97	94	95
書くこと		91	92	83
読むこと		93	83	93
言語事項		102	97	77

考察  
1年生では、1項の「漢字や語句などの知識を持つこと」での漢字学習の成果が見られる。一方、2年生では1年次は、同様の結果が出ているが、2年次では同じ項の「単語の活用や語の用法を知ること」が全国比65という結果であった。知識がその活用までには至っていないことがうかがわれる。

数学	学年	2年		
	実施日	04.2.5	03.2.13	04.2.5
内 容		全国比 (100)	全国比 (100)	全国比 (100)
数と式		102	100	111
図形		64	103	106
数量関係		111	102	112

考察  
1年生では、「数と式」「数量関係」で高い値が出ている。特に、正・負の数の計算、文字の式での結果がよい。2年でも、全体的な伸びが見られる。中でも、文字式の計算、連立方程式等の計算に結果が出ている。ドリル形式のプリント学習による結果が出ているようだ。

### その他の成果（アンケート結果より）

- ・生徒は、基礎・基本的な内容を反復学習することで、つまずきがなくなり、学習に対する苦手意識が解消できた。さらに、集中力や意欲が増した。
- ・級友と教え合う学習をすることで、支えあい・高めあい・磨きあう学習環境を整えることができた。
- ・学習の仕方そのものを学ぶことができた。
- ・特設補充学習は、全職員で主にTTの形態で指導にあたっている。そのことで、担任生徒の全体的な学力の状態が分かり、保護者との面談等でも十分な情報となり、話し合いが深まった。

### (2) 学び方部会

生徒会を中心に作成した「学習ルールの七か条」について

学習ルールの七か条
1. 休み時間に授業の準備をし、チャイムの前に着席している
2. はじめと終わりのあいさつは元気よくはっきり言える
3. 正しい服装と姿勢で、授業に臨んでいる
4. 学習用具を忘れない
5. 宿題や課題を必ず提出している
6. 積極的に発表している
7. 友だちの意見を聞き、自分の考えを深めようとしている

平成15年11月制定

### 生徒の変容について（アンケート結果より）

- ・1～5の項については、平成15年11月の調査にくらべて平成16年1月の調査の方が、良好・おおむね良好と回答した生徒が増加しており授業へ臨む意識の高まりが見られる。6・7の項については、変化は見られなかった。

- (3) 二学期制について  
二学期制は、学力向上の一方策としての取り組みであるが、その第一は、授業時数確保であった。行事等の精選、再配置により年間総授業時数は次のように確保できた。（特設補充学習の時間も含む）

1年	1065時間	2年	1059時間	3年	1029時間
----	--------	----	--------	----	--------

特に、今年度の取組をあげると、夏季休業中の学習会（1、2年で5日間、3年11日間）の実施と成績補助簿の発行（7月、12月）である。ともに保護者の反応も良好なものであった。

## 2. 今後の課題

- (1) 特設補充学習の課題内容・指導法の工夫・改善を進める。さらに、各教科との関連を明確にし、教科の特性に応じ、基礎・基本の定着を図る指導法の工夫・改善を進める。  
(2) 緻密で客観性のある絶対評価とその評価の指導への生かし方深める。  
(3) 二学期制のスムーズな運営をめざし、行事計画の再検討・見直しを進める。

## 学力等把握のための学校としての取組

- 定期テスト  
・対象：全学年  
・目的：各教科の学習成果をまとめるため  
・時期：6月、9月、12月、2月
- 新入生学力テスト  
・対象：1年生対象  
・教科：国語、数学  
・時期：4月
- 課題テスト  
・対象：全学年  
・目的：夏休みの学習成果をまとめるため  
・時期：8月
- 市内共通テスト  
・対象：3年生  
・教科：5教科  
・時期：8月、11月
- 実力テスト  
・対象：全学年  
・教科：5教科  
・時期：5月、9月、10月、1月（3年） 6月、11月、1月（1・2年）
- C R T  
・対象：全学年  
・目的：観点別到達度の判定  
・教科：5教科  
・時期：2月
- 単元テスト  
・対象：全学年  
・教科：各教科  
・目的：学習成果をまとめるために実施  
・時期：単元終了時

## フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- 学力向上フロンティア第1回公開授業
- ・期日：平成15年11月17日
  - ・会場：本校
  - ・目的：県内小・中・高教職員に対し、本校の取組を紹介
  - ・参加者：60名

- 伊万里市教育研究大会
- ・期日：平成15年12月25日
  - ・会場：伊万里市民センター
  - ・目的：市内小・中学校の教職員に対し、本校の取組を発表

- 学力向上フロンティア第2回公開授業
- ・期日：平成16年2月12日
  - ・会場：本校
  - ・目的：県内小・中・高教職員を対象に本校の1年間の取組を紹介（予定）

- 
- 【新規校・継続校】       15年度からの新規校       14年度からの継続校
- 【学校規模】               3学級以下                       4～6学級  
                                  7～9学級                       10～12学級  
                                  13～15学級                     16学級以上
- 【指導体制】               少人数指導                       T Tによる指導  
                                  その他
- 【研究教科】               国語                       社会                       数学                       理科  
                                  外国語                     音楽                       美術                       技術・家庭  
                                  保健体育                   その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】       有                       無